

I. クリスチャンの使命

主イエスは、ただ単に私たちを裁きから救ってくださっただけでなく、私たちをご自分のおともをするように召してくださいました。弟子になるということは、実は、私が弟子になりたいと望む以前に、主イエスの方が召してくださった結果なのです。

原語にみる「召し」〈ギリシャ語〉クレーシス／カレオー（動詞「召す」）

この語には大きく2つの意味があります。1つは、「名前で呼ぶ」、もう1つは「ある目的のために呼び出す／呼び集める」です。キリストの公生涯の中で初めてこの言葉が使われる個所は、最初の弟子たちとなったガリラヤ湖の漁師たちを弟子として「召した」場面です。私たちが信仰告白に導かれたときに、主はご自分のお手伝いをする弟子として私たちを召してくださったのです。

1. 救いと召し

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。神は、_____人
たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ_____のです。

神は、あらかじめ定めた人たちをさらに_____、召した人たちをさらに、_____
_____, 義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。（ローマ 8:28～30）

※「召し」⇒「義認」の順序から、使命なしに救われた人は一人もいないとわかる。

2. 召しとは

(1) 名指しで抜てきされた

「わたしについて来なさい。あなたがたを、_____にしてあげよう。」
（マタ 4:18～22）

(2) 自分が「召された」ことは、信仰告白できたことでわかる。（1 ヨハネ 4:15; 5:1）

3. 何に召されたのか

全てのクリスチャンに共通する3つの「召し」があります。具体的な職業や役割は一人一人ちがいますが、基本的に下記3つの共通の召しのもとに、それぞれの具体的な召しがあります。

① 教会建設（教会を建て上げること） エペソ 4:11～13

② 宣教（まだ救われていない人に福音を伝えること）

ピリピ 1:3～6 1 ペテロ 3:15～16

③ 聖化（私自身が霊的に成長しキリストに似たものとなること）

コロサイ 3:12～15 2 コリント 3:6～18

続く章(J～M)で、上記3つの召しについて、詳しく見ていきましょう